

# 菊鹿中コミュニティ通信

No.4 平成26年11月吉日 発行

## 一本の襷に 思いを込めて



「最後まで襷を繋ぎました」  
「最後まで応援しました」  
「最高のチームになりました」  
(3年生の言葉)

市中体連駅伝大会は惜しくも県大会出場は逃しましたが、応援していただいた方々の声援は、大きな力となりました。今後も生徒達の頑張りをお願いいたします！

## コミュニティ・スクールの推進と充実

元熊本県教育長の柿塚純男先生を講師にお招きして研修会を行いました。子どもたちを育てるためには、学校・保護者・地域が情報を「共有」「確認」「実行」することを継続させていかなければなりません。

今後も知恵と力を出し合って、地域一丸で学校をつくっていきましょう！



## 伝統の文化祭！ 輝く菊鹿中生！

各学年の劇や合唱をはじめ、どの発表も生徒達が中心となって作りあげたものです。だからこそ、強い思いが溢れるものでした。

また、炊き出しをしてくださった虹の会・PTAの皆様のお陰で、胃袋も心も満たされました。そして、保護者・地域の方を始め沢山の方々にお越し頂き、本当にありがとうございました。

周りの方々の支えと愛情を感じる文化祭となりました。



輝く



仲間



協力

## 生徒達の言葉

「どんなに苦勞しても最後には達成感に変わることを感じました。」(1年生)

「合唱では、優勝には手が届きませんでした。心が一つになれたことが一番嬉しかったです」(2年生)

「テーマ(ONE～輝き合える仲間とともに～)には、私たちの身近にいる仲間とひとつになって輝きたいという思いがつまっていました」(3年生)



早朝3時から炊き出し準備！